



1 猪苗代高校の新たな取り組み

校長 滝田勝彦

コロナ禍から以前の日常生活を取り戻した感があるこの頃、本校では従来の学校教育活動が滞りなく行われております。3年に一度の若鷹祭も6年ぶりに一般公開を行い、250名を超える方々に来場していただき、クラス企画や模擬店、探究活動の展示・成果品の提供、手帳甲子園投票など、多くの方々に楽しんでもらえたと思っております。

今回は、地域協働推進校ならではのアイディアとして、本校生徒と町商工会青年部の方々との協働で初めて模擬店を実施しました。これは、「地域と共に」、「協働する」、「少人数の課題を解決する」策として行いました。今後も地域と共に歩み、地域創生の核となる社会に貢献できる人材育成に努めて参ります。

2 学校生活の様子（2学期）

① 修学旅行（2学年）

2年生は9月に3泊4日の修学旅行に行ってきました。初日は少し雨でしたが、その後は最終日まで天気に恵まれ、事故や怪我もなく楽しむことができました。



1日目は金閣寺を散策し、その後北野天満宮で昇殿参拝をしました。



2日目は京都市内の班別自主研修で京都の観光スポットをまわりました。事前に自分たちで下調べをし、現地では協力し合いながら京都の文化を学ぶことができました。



② 県高校駅伝

10月26日(木)に福島県高校駅伝が行われました。今年は男女ともに出場、昨年度に引き続き沿道での応援と、全校体制での取り組みとなりました。本校は常設の駅伝部がないため、スキー部の生徒や希望者が、放課後の練習に励み、当日を迎えました。一人ひとりが持てる力を最大限に出了したレースだったと思います。

応援してくださった保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございました。

③ 若鷹祭

11月3日、4日に若鷹祭が開催されました。前回は感染症拡大防止のために校内のみの実施だったため、6年ぶりの公開文化祭となりました。多くのお客様に来場いただき、猪苗代高校の取り組みや生徒たちの姿を知っていただく良い機会になったと思います。ご支援・ご協力をいただきました地域の皆様、本当にありがとうございました。



3学年

今年度の若鷹祭はクラス企画や探究の発表の他に、各学年が商工会と連携して屋台を出しました。3学年はウチダザリガニのザリガニ塩を使用したフライドポテトを屋台で提供しました。クラス企画では縁日風の体験型屋台とアメリカ風フォトスポットをやりました。スタート時からお客様が絶えることなく、13時頃までは景品がなくなってしまうほどの大盛況でした。人数が少ないため、準備や当日の運営はとても大変でしたが、何とか成功を収めることができました。



1学年

私たち1年生はクラス企画でお化け屋敷をやりました。教室2つ分をお化け屋敷にしたので、なかなか完成することができず、当日まで仕上げるのが無理かと思われましたが、全員で協力し合い、最高のお化け屋敷を作ることができました。企画の準備を通してクラスの皆さんと今まで以上に仲を深めることができたと思います。次にクラス全員で行事に取り組む際は、今回の経験を生かして計画的に取り組めるように努力したいと思います。屋台の運営も大変でしたが、達成感を得られ、とても楽しい文化祭でした。

3 新生徒会役員インタビュー

生徒会長 2-1 宗形 紅愛

私は全校生徒が学校生活で抱える悩みや不安を少しでもなくせるよう、「毎日が楽しい」と思えるような学校にしていきたいと考え、会長に立候補しました。生徒会が中心となり、日々の学校生活や、体育祭や球技大会などの学校行事を全校生徒で盛り上げ、先輩方が今まで築いてきてくださったこの猪苗代高校を今まで以上に楽しい学校にしていきたいと考えています。

副会長 2-1 加藤 優

私は旧生徒会役員の活躍を見て憧れを抱き、副会長に立候補しました。猪苗代高校は他校と比べると小規模校ですが、少人数だからこそできることがたくさんあり、生徒一人ひとりが活発に活動しています。副会長として会長を支えながら、今まで以上に明るく楽しい学校にしていきたいと考えています。

副会長 2-1 小椋 大翔

私は副会長として、全校生徒の意見に耳を傾けたり、地域の方々とも交流を深めたりして、学習や探究活動に積極的に取り組めるような環境づくりを頑張りたいと思います。

発行者 猪苗代高校活性化委員会
編集 福島県立猪苗代高等学校

会長 二瓶 盛一（猪苗代町長）
生徒会出版委員会
(生徒たちが作成編集しています)

電話 0242-62-3125

ホームページ <https://inawashiro-h.fcs.ed.jp/>